

覚えておきたい心肺蘇生

～救急車がくるまでにできること～

(監修)川崎幸病院 看護師 宮坂 悠紀／岡山 さおり



1 小児に対する心肺蘇生

①意識の確認

- (1)両肩を叩きながら大きな声で呼びかける
- (2)脈は首を触って確認する

②反応なし → 応援要請

- (1) 救急車(119番)を依頼
- (2) AEDを依頼

③胸骨圧迫・人工呼吸

胸骨圧迫

場所:胸骨の下半分
速さ:100～120回/分
深さ:胸の厚さの1/3以上＝約5cm

人工呼吸

あごを持ち上げ、気道を確保し、1秒かけて2回息を吹き込む

④AED

2 乳児に対する心肺蘇生

小児との相違点

意識の確認

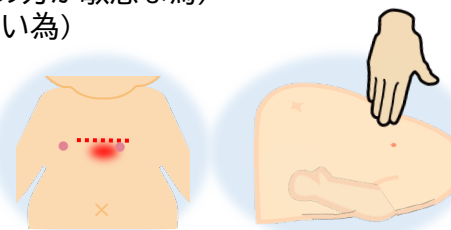
- (1)両肩ではなく、**足の裏**を叩き意識を確認する(乳児は足の裏の方が敏感な為)
- (2)脈は**腕**を触って確認する(首は座っていなかったり触れにくい為)

胸骨圧迫

場所 :両乳頭を結ぶ線の少し足側を目安とする胸の真ん中

深さ :胸の厚さの1/3＝約4cm

押し方:**2本の指**で押す、または体を両手で持ち両親指で押す



3 AEDの使用法

基本的には成人と同じ、音声ガイダンス通りに使用する

※使用するAEDに小児対象スイッチが備わっていればスイッチを切り替える。
また小児専用パッドが入っていればそれを使用する。



4 気道異物による窒息の対処法

意識のある場合のみ行う

意識がない場合は直ちに心肺蘇生

背部叩打法(はいぶこうだほう)



後ろから手のひらで左右の肩甲骨の中間あたりを力強く何度も叩く

乳児・妊婦には
この方法のみ！

腹部突き上げ法

後ろから両腕でへそとみぞおちの間に握りこぶしにした手を当て、素早く手前上方に向かって圧迫するように突き上げる



©メディカルイラスト図鑑